

近畿ブロック総会開催報告

産業開発青年隊同窓会長 鈴木 浩明

令和8年3月7日、大阪駅周辺にて、近畿ブロック大会が開催されました。総勢15名の参加の予定でしたが、北海道ブロックの福岡さんが、大雪のため、飛行機が飛ばなくなり、急遽14名となりました。北海道より平井先輩、渡村先輩、中部より北島ブロック会長、東海より栗田直前会長が出席していただきました。遠路はるばる、ありがとうございました。また、四国より高森先輩が出席していただきました。高森先輩は、私が、指導員の時代に海外課程担当の随行指導員として、3年間ご一緒させていただきました。吉留先生の葬儀の時には、顔を合わす程度しかできませんでしたので、ゆっくりと、お話ができたのは、三十数年ぶりでした。高森先輩は、青年隊修了後、背年海外協力隊に入隊し、フィリピンに派遣されました。実は、ロータリークラブで、フィリピンのバギオにて、日系フィリピン人の援助をされており、少々関心がありましたので、派遣場所をお聞きしたところ、なんと、バギオということでした。

協力隊当時、日系人の救済に携わっていた、シスター海野さんと、共に、活動をしていたということでした。バギオは、フィリピンの首都マニラの北方にある、高原リゾート地です。アメリカ統治時代、(明治時代)暑さに耐えかねたアメリカ人がバギオで避暑地の開発に乗り出しました。その道路建設は、難工事の連続であったようです。そのような状況下、勤勉な日本人に目をつけ、多くの日本人が建設に従事したそうです。工事が10m進むと一人の人柱が必要であったという、壮絶な現場であったそうです。そのような状況下でありましたが、工事は完成しました。工事に従事した日本人の中で、現地人と結婚をして、定住する人もあったそうです。勤勉な日本人でしたので、財産をなす人もいたそうです。太平洋戦争において、日本がフィリピンをアメリカに代わって、統治をしますが、アメリカは、フィリピンをサトウキビの生産地としていたため、他国よりコメを輸入していたそうです。その後、日本が、統治をしますが、農業政策がうまくいかず、フィリピンは、貧困にあえぐようになってしまったそうです。さらに、反日対抗ゲリラも活動しており、ゲリラの協力者を探すために、一般人にも拷問をくわえたりして、虐殺をおこなったようです。戦争終盤、アメリカが、北進し、日本軍は、バギオの日系人を頼りに、ジャングルに入ったそうです。戦後、バギオの日系人はフィリピン人の反日感情からの、虐殺を恐れ、国籍を捨て、ジャングルの中で、隠れるように生活をしていましたそうです。その惨状を、シスター海野が知り、ジャングルの中に分け入り、一人一人探しながら、支援をしたそうです。その当時に高森先輩は、そのボランティアに参加していたそうです。バギオの日系人の願いは、子弟の教育環境を整えることでした。同じころ、ロータリークラブも援助に乗り出し、奨学生基金を設立し、日系人の援助を行い、現在に至っています。

このような、お話をすることができたこと、青年隊のご縁に感謝したいと思います。更に、今後のロータリー活動につなげることもできると思います。 以上







出席された方は以下の通りです。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ・ S. 54 海外課程 | 太田近畿ブロック会長 |
| ・ S. 59 海外課程 | 鈴木会長 |
| ・ S48. 高等科建設施工 | 若宮先輩（元指導員） |
| ・ S. 55 高等科海洋工学課程 | 田中先輩（2級下） |
| ・ S. 55 海外課程 | 西村先輩（1級下） |
| ・ S. 51 高等科海洋工学課程 | 井地先輩（1級上） |
| ・ S. 54 高等科社会工学課程 | 小宮先輩（入隊時2級上，卒業時1級下） |
| ・ S. 60 海外課程 | 大場君 |
| ・ S. 52 高等科建設工学課程 | 岡部先輩（1級上） |
| ・ S. 54 海外課程 | 高森先輩（愛媛，同期，元指導員） |
| ・ S. 48 高等科建設施工 | 栗田直前会長 |
| ・ S. 48 高等科測量設計 | 平井副会長（北海道） |
| ・ S. 48 高等科建設施工 | 渡村北海道ブロック会長（北海道） |
| ・ S. 48 高等科 | 北嶋中部ブロック会長 |